

8/20 (土) 13:00~16:00

早慶合同稽古

参加卒業生：斉藤コーチ、猪又先輩、勝田先輩、板橋先輩、貞益先輩、初鹿先輩、中根コーチ  
欠席/遅刻：朴さん、蓮尾さん、大庭/なし

内容

統率：磯野さん(慶應)

準備運動

後方転倒運動

膝行各種

大きな前方回転受身

後方回転受身

統率：安藤さん(早稲田)

「逆構当、隅落としから前落としに続く技」の稽古 二人一組

「正面当、一教から下段当に続く技」の稽古 二人一組

統率：磯野さん(慶應)

片手取り両手持ち呼吸投げ(八の字) 楷書の稽古 二人一組

片手取り両手持ち呼吸投げ(八の字) 草書の稽古 二人一組

片手取り両手持ち呼吸投げ(八の字) 草書の練稽古 受け取り交代して10本ずつ

片手取り両手持ち呼吸投げ(八の字) 草書の練稽古 受け取り交代して10本ずつ

片手取り両手持ち呼吸投げ(八の字) 草書の練稽古 受け取り交代して10本ずつ

統率：安藤さん(早稲田)

正面当を捌く懸り稽古

後先の懸り稽古

引き立て稽古

早慶合同稽古演武会

内容

〈演武競技〉

(慶應)(早稲田)

下級生 小森さん-中根さん, 柏木さん-大石さん

徒手 橋山さん-奥さん, 田崎さん-荒川さん

坐技 井上さん-内田さん, 近藤さん-中里さん

短刀 加藤さん-村上さん, なし

杖 玉木さん－新妻さん, 長谷川さん－堺さん  
自由技 磯野さん－小森さん, 安藤さん－原野さん

〈審査制乱取稽古〉

(慶應)(早稲田)

女子	中根さん－中里さん	2(技有1)-9(一本2, 有効1)
先鋒	奥さん－堺さん	0-4(一本1)
次鋒	新妻さん－田崎さん	0-6(一本1, 技有1)
中堅	磯野さん－若旅さん	1(有効1)-1(有効1)
副将	内田さん－長谷川さん	0-2(技有1)
大将	玉木さん－安藤さん	0-16(一本4)

今日のポイント：下に行けば勝手に上に行く。「上げよう」と頑張らなくていい。

感想

こんにちは、私一年の太田です。初めて早慶の部誌を書きます。早慶への参加は、5月から数えて今回で4回目となりました。富木合気道という流派の輪郭が、少しずつ見えてくるようになった気が致します。

もちろん、自らの流派の勉強も怠りません。むしろ、藤平光一先生の『氣の實在』、藤平師範の『心を静める』などのご著書に触れることが、富木合気道の重要な特徴を、単にウィキペディア的な知識としてではなく、かなりの程度理解することを助けたのです。

まず、植芝盛平先生にとって「大本」がそうであったように、心身統一合気道の「思想的柱」には、光一先生が学生であられた頃に出会った禅やヨーガの世界観があります。いくつか前の部誌でも書きましたが、臍下の一点を説明するとき用いられる「無限小の○○」といった表現は、極めて東洋的なものです。それは「理論」すなわち言語的な構造に支えられたものではありません。心と身体をまさに一つにして、それを「感じる」(=修行)ことが、ある意味では「理解する」ことを意味しているようです。

しかし、その体験を他者と共有することは困難を極めます。言うまでもなく、身体感覚を無媒介に共有することは不可能です。それができるのだという主張には、何とというか、某カルトを連想させる怖さがあります。同時に、言語化という行為も、東洋哲学においては多くの場合「おもしろくない」ものとしか見られていません。だからこそ、身体が触れ合う稽古が重要になってくるのだと思います。

一方で、「伝わること」を追い求めたのが富木合気道なのだと感じます。それは、富木謙治先生が「体育」としての合気道の完成に人生を懸けたことから分かります。もちろん、実際に身体を動かす稽古が何よりも重要であるという点に変わりはありませんが、あの明確な技術体系もそれはそれで素晴らしいものだかと最近思います。今回の稽古を通じてその思いを強くしました。それに対して、私は私の合気道をどのような稽古していくべきか。また新たな悩みの種が出来ました。頭が痛いですね。それでは、失礼致します。

担当：太田 百和